



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和4年2月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

学ぶ・知る・常に備える

校長 岡本 修一

令和4年になって早1ヶ月が過ぎました。2月は1年間で最も寒い時期となりますが、生徒たちは元気に落ち着いて学習に取り組んでいます。特に3年生は私立高等学校、公立学校推薦入試などの出願を終え、入学試験にむけて学習活動にも熱が入っています。

中学校給食が1月12日から始まり、みんなで協力し配膳でき、現在は新型コロナ感染防止のため、黙食ではありますが、とてもおいしくいただいています。

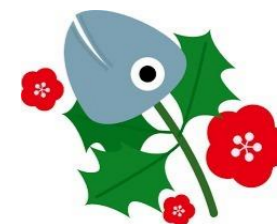


3学期は、それぞれの学年のまとめの学期です。学習を、日々の生活を、しっかりやりとげ、次の学年へ、3年生は卒業後の進路先へ、確実にたすきをつなげていきましょう。3月末には、この1年間に自分の頑張ったことを、お家や地域の方々に伝えることができるでしょう。



今年は、2月3日が節分です。節分は、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日です。江戸時代から立春の前日のことを主に節分と言うようになったといわれています。暦の上では、節分が終わると春といわれています。暖冬とはいえ2月は1年の中で寒い日が続く月です。節分といえば、豆まきですね。鬼に豆をぶつけることによ

り、邪気を追い払い、1年の無病息災を願うという風習が、中国から平安時代に伝わってきました。また、まいた豆を、自分の年の数だけ食べる、自分の年の数の1つ多く食べると体が丈夫になり、風邪をひかない等のならわしがあるところもあります。節分には、**縄に柊(ひいらぎ)**や**イワシの頭**を付けた物を門にかざるところもあります。これは、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられ、それを追い払うためです。ご家庭や地域でも子どもたちとごいっしょに、日本の伝統や文化、風習についてお話してください。



【1. 17を忘れない 地震避難訓練を実施しました】

6435名が亡くなり3人が行方不明となった阪神淡路大震災から27年がたちました。この地震災害のあと11年前に東日本大震災、5年前の熊本地震、鳥取地震、3年前には大阪北部地震、北海道地震が、今年に入っても数々の地震・津波が発生し、多くの被害にみまわれました。私たちは今、いっどこで地震が起こっても不思議ではない日本列島で生活しています。科学の発達とともに地震や津波の仕組みは解明されてきていますが、地震を止めることは人間の力ではできません。ですから、地震や火災が発生したとき、一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という行動をとることです。1・17この日を忘れずに、避難訓練をくりかえして、いざというときに備えておかなければなりません。生徒の皆さんは今、こうして生きていることの幸せをしっかりと受け止めて、生きることができなかった人たちの分まで勉強し、立派に成長し、自然災害の多いこの日本の国を守って欲しいと願います。



【心身の健康を管理すること】

自分の力を思う存分発揮するためには、学校目標である「健康でたくましい心身」を管理することが必要です。心や気持ちの部分の健康という視点から「不安の解消」について、先日の生徒朝礼で生徒たちに次のような話をしました。『不安の一つの原因として、「知らない」「経験していない」ということがあります。たとえばパニックになることもあるでしょう。しかし、何かで勉強して、その事や物について事前に知っていたら、それほど不安にはならないはずですから、知ること・体験すること・経験することは「不安の解消」にとって重要です。

3年生は、初めて高校受験などに直面しています。合格できるかな、試験で十分な力が発揮できるかなど、不安に感じている人は、そのことの経験がないからです。ご両親、兄弟姉妹、先輩などから話を聞くと、少しは「不安の解消」になる人もいると思います。経験談にはとても説得力があります。受験に限らず、不安のある人は、不安の原因を明らかにして、そのことについてしっかりと調べて知ることです。一番良いことは、相談することです。皆さんの周りには、皆さんの抱えている不安をすでに経験し、解消してきた多くの方々があります。よき理解者の先生がいます。しっかりと相談してください。』

【みんなで感染予防を】

新型コロナの感染の急拡大が続く中、1月27日再び、**まん延防止等重点措置を適用する地域に指定**されました。コロナ感染防止対策では、みんなで協力して3つの密を避け、マスクの着用、うがい、手洗いに心がけましょう。

